

2015年度事業報告(案)

2015年 4月 1日 から 2016年 3月 31日まで

特定非営利活動法人 ぐるったネットワーク大町

① 地域資源の発掘・保全事業

ア. わっぱらんどの会の事務サポート

恒例のわっぱらんどの夏祭りをはじめ、管理作業や打合せ等のサポートをした。



イ. 森林および竹林の整備とイベント

3年間申請できる「森林・山村多面的機能発揮対策交付金」の2年目。千年の森自然学校の里山整備と、八坂の竹林整備を継続した。同時に「教育・研修活動」として、地元小学生のわっぱらんど受入れ等を積極的に行い、子供たちに環境学習や林業体験等の機会を提供した。



② 地域資源を活かした、青少年の健全育成事業および観光事業

ア. 黒部ダム奥の原生林ツアーア

大町市観光協会主催の湖畔トレッキング: 申込みが少なく、催行中止。

個人客の受入れ2件あり、述べ6人を黒部平にガイドした。

イ. かんじきハイク

大町温泉郷雪まつり協賛キャンペーン: 2月 7日、14日、21日、28日

中山高原かんじきハイク

3月 6日 黒沢高原のかんじきハイク

ただし中山高原コースのうち2回は雨で中止。暖冬のため集客は伸びず、今年の参加人数は述べ24人。また、このほかに大町病院を守る会、松本のトレッキンググループから申し込みがあり、合わせて30人ほどの参加があった。



ウ. その他オリジナルツアー

*ほたるのゆうべ:7月4日、11日、18日、宮の森自然園にて、参加者合計89人

*温泉郷ナイトハイク:8月1日～8日毎日、大町温泉郷森林劇場周辺にて 参加者合計86人



*教育旅行受入れ:

7月 9日 大町北小学校1年生をわっぱらんどにて受入れ(自然観察と水生昆虫調査)

7月23日 名古屋にある美園幼稚園学童の小学生キャンプ、わっぱらんどにて受入れ

9月 1日 大町南小学校1年生をわっぱらんどにて受入れ(雨のためガイドが学校に赴き実施)



大町北小1年生

美園幼稚園学童

大町南小1年生

9月25日 東京都武蔵野第五中学校のまちなか歩きを受け入れ

仁科台中学一学年との交流事業ならびに仁科タイムのサポートも行った。



*大学のゼミ合宿の一コマとして、鷹狩山へのハイキングの希望があり、名ほどをガイドした。

*このほか昨年作成した販売ツールの活用、新規ツアーコース開拓、研修隨時。



販売ツール活用

大町ダム遊歩道コース下見

グーグルトレッカーリサーチ

林業研修

エ. 北アルプス山麓グランフォンドの事務局

*9月5日受付、6日開催、参加者750人(応援バス含む)



オ. アルプスあづみのセンチュリーライドへの協力

*5月24日 エイドステーション5箇所の運営

(国営公園、平公民館、スノーハープ、美麻、松川)

参加者1500人、スタッフ総勢60人程度

*2015年度初の試みとして、エイドの提供品をお土産として販売。

売上げは多くはなかったが話題性はあったので継続していきたい。



カ. お菜洗い&野沢菜漬け体験、野沢菜味巡り

*恒例のお菜洗い:11月26日、28日、29日、

温泉郷森林劇場隣の広場にて

信濃大町お葉漬け隊の事務局として事業をサポート。

参加者41人、取り扱い野沢菜 391kg

*あめ市における「野沢菜味めぐり」:2月11日、塩入家具店前にて

提供:20軒、これまで空き店舗を借りて実施していたが、今回路上で行ったことで、

より多くの方に目にとまり、関心を持ってもらうことができた。



キ. 温泉郷イベントへの協力

*わっぱらんどの会と協力して、温泉郷雪まつりへ木ろうそくを提供した。

③ 前項をとおした仕事おこし・地域づくり事業

ア. 信濃大町食とアートの廻廊の開催準備

信濃大町食とアートの廻廊実行委員会の事務局を受け、企画調整・シンポジウム開催を行った。

11月8日付けで運営体制は大町市に移行

したが、2015年度は移行期間として事務局業務を一部委託され、実施体制の改編を進めた。



イ. 信濃大町暮らし拝見ツアーの企画・運営

今年度から新たに、大町市定住促進協働会議より委託され、暮らし拝見ツアーの企画・運営を実施。

春のツアー: 5月16～17日、参加者3家族4名(うち1家族3名は今春移住)

暮らし拝見と病院祭見学

秋のツアー: 10月24～25日、参加者7家族12名(うち1家族2名は今春移住)

暮らし拝見と靈松寺見学、りんご狩り、おやき作り



ウ. アーティスト・イン・レジデンス事業

信濃大町食とアートの廻廊の実績が評価され、大町市の新規事業「信濃大町アーティスト・イン・レジデンス事業」のコーディネーターを委託され、統括コーディネーター1名、コーディネーター3名の体制で、事業を進めた。内容としては、拠点整備・拠点の管理・利用のルールづくり、滞在作家の公募、作家のウェルカムパーティーと制作・発表のサポートなど。



④ 地域の市民活動をつなぐためのネットワーク事業

ア. 市民団体のサポート・地域連携

*三蔵呑み歩き実行委員会に参加をし、北アルプス山麓グランフォンド実行委員会との橋渡しをしながら、呑み歩きを楽しむ公式ガイドを作成し、街中のバス停も担当した。

*やまびこフォーラムのフィールドワークコーディネート

11月19日に地方事務所の主導で開催されたやまびこフォーラムにおいて、街中歩きのフィールドワークのコーディネーターを務めた。

大町商工会議所やまちづくり協議会、そのほか市内のみなさんと協力しつつ、昼食の予約を受け、配布マップを作成した。



イ. おおまちの食 おいしいプロジェクトのサポート

三蔵呑み歩き実行委員会・お祭りご膳仕掛け人会が中心となって始まった「おおまちの食 おいしいプロジェクト準備委員会」から事業のコーディネートを委託され、銀座naganoでの試食会やWEB構築のお手伝いをした。また2013年におおまちラボラトリが手がけて以来関わってきた「恋するおおまちスイーツ」については以後「おいしいプロジェクト」が東ねることとなった。

お祭りご膳仕掛け人会から、チラシ・リーフレットやレシピ集の作成を委託され、デザイン・編集を行った。



ウ. 大町市観光協会、大町商工会議所、大町商工会議所青年部、長野県中小企業団体中央会への加入。

エ. 大町まちづくり協議会、定住促進協働会議、国営アルプスあづみの公園を活かした地域振興推進会議、市民活動サポートセンター運営委員会、北陸新幹線延伸対策協議会、北アルプス山麓里山ウォーク実行委員会に委員を出向。

オ. このほか、会議室・プリンター・備品等の貸し出しは隨時

⑤ 地域情報の収集・発信事業

ア. ぐるっとマップ制作

大糸タイムスに隔週で「ぐるっとマップ」を連載。さまざまな切り口で地域資源マップを作成し、地域の魅力を発信してきた。2015年度中の掲載数は26、112号から138号まで。

4月	桜だより、 ほろ酔い街めぐり&おおまちバル	10月	梅池ヒルクライム、池田街中散策
5月	小谷塩の道、松川ウォーキング、	11月	大町そば巡り、大町まち歩き
6月	黒部ダムカレー、山小屋	12月	雪道のハザードマップ、スキー場のクリスマス
7月	直売所、索道、原始感覚美術祭	1月	大北の神社、ゲレ食、おおまち雪まつり
8月	グルメグランプリ、戦後70年、温泉郷ワインウォーク	2月	ロケ地めぐり、山城
9月	大町のパワースポット、囲場の芸術	3月	大町の歌碑



イ. I・Uターン、コミュニティビジネスの取材・発信

大町市産業立地戦略室の委託を受けて、I・Uターン、コミュニティービジネス等の取材・発信を行った。2015年度に取り上げた件数は4件。

2012年度から4年間に渡って実施してきた事業であったが、2015年度をもって終了。合計取材件数28件。



株/NPO 法人山里舎



ユナイトコーヒー



NPO 法人みとろクリエイト



ナーベルグスイス インヤード

ウ. ホームページ、SNSにおける情報発信

ホームページではぐるっとマップを公開している。SNについてSは、ぐるったネットワーク大町、北アルプスネイチャーガイドのフェイスブックページ管理を行っているが、こまめな発信ができるていないのが課題である。